

みんな で や ら い や !

(第3回)

～まちづくり活動報告～

大山町未来づくり交流会開催

2月18日(土)、保健福祉センターなわで「大山町未来づくり交流会」を行いました。この交流会は、本町でまちづくりに取り組むさまざまな団体・グループが、お互いの情報共有や連携・協力の呼びかけを行う「交流の場」にしようと企画したものです。

記念すべき第一回の特別ゲストに、元我孫子市長で現在消費者庁長官の福嶋浩彦さん(米子市出身)を迎え、「地域の未来を切り拓く住民参画によるまちづくり」と題してお話をいただきました。



福嶋浩彦さん講演概要



(住民参画によるまちづくりとは)

「地方分権の時代だから、自治体の財政が厳しいから」という理由で住民にまちづくりをお願いするという発想は本末転倒。まちづくりは専ら行政が実施するのではなく、住民が参加して行政と一緒に実施していくほうが地域がよくなる。住民ができるところは全てやる、できないところを税金を払って行政に実施させるのが本来の姿。地域の公共は全て住民の公共、行政は地域社会をつくる「道具」。

(まちづくりに重要な視点)

これまでの自治体の平均的な姿は、国からの補助金、企業の工場誘致などお金を持ってきてくれる人、お金を落としてくれる人を自治体で奪い合っていたが、こういった方式はもう通用しない。地域の「人材」、「資源」を徹底的に見つめ直し、それを活かしていくところから始めていくことが必要。

まちづくり活動団体からの報告



「御来屋地区会議」

薩摩 浩さん

高齢化の進行や津波の危険を踏まえ、「炊き出し訓練」の実施や高齢者の居場所づくりに取り組むこと、高齢者と若者が一つになれるまちづくりに賛同する団体への協力が呼び掛けられました。



「築き会」

中村隆行さん

町外から移住する人を温かく歓迎し、共にまちづくりに取り組む「サロン」の形成や、町の地域資源を活用し、メンバーの特技を活かしたイベントの開催が表明されました。また、まちづくりに取り組む先輩方によるアドバイスや協力が依頼されました。



「大山やすらぎの里」

浅田明枝さん

地域住民が気軽に立ち寄れる場所の提供や高齢者の健康づくりに取り組む団体への支援が表明されました。



「大山ハーブティー開発研究会」

平澤雅之さん

感染症やアレルギーの緩和作用などに効果があるとされている「エキナセア」という薬草を町の特産品にしようと取り組んでいることや、エキナセアの応援団になっていただきたいとの呼び掛けが行われました。



「子育てサークルエコママ」

天島喜久子さん

虫除けスプレー作り、自然食講習会などの交流活動や、東日本大震災の被災地支援のチャリティーフリーマーケットの開催が紹介され、分野を問わず一緒に活動できる団体への協力が呼び掛けられました。

会場からの声に答えて

会場から「まちづくりの
実行に際してアドバイスを」の声に福嶋さんは次のように話されました。

(福嶋さん) 異なる意見を有する者同士が、話し合いを避けるのではなく、徹底的に議論し、「自分たちで合意をつくる力」をつけていくことが何よりも重要。また、行政が住民のまちづくりをコーディネートする力も必要。

◆問い合わせ先

企画情報課 未来づくり推進室

☎0859-54-5202

次回交流会

今後も、さまざまな分野の活動が
なっていくようさらに「交流会」
の充実を図っていきます。

「第2回交流会」を、4月28日(土)13時30分
から保健福祉センターなわで開催します。まちづく
りや大山町の将来に関心のある方は積極的にご参加く
ださい。